

国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
国語	国語探究B	2	3年次・L1群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
高校生のための愛媛の文学 改訂版				3年次選択履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
愛媛県にまつわる古典文学を学び、愛媛県の社会の担い手としての自覚を深め、先人のものの見方、感じ方に興味を持つとともに、言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化および郷土の文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国および郷土の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点	
	1 学 期	1	俳句 「正岡子規」 「高浜虚子」 「河東碧梧桐」 「中村草田男」 「愛媛ゆかりの俳人たち」	4 5	・愛媛ゆかりの様々な俳人の作品に触れ、自分の感性を磨く。 ・著名な俳人を輩出した愛媛県の文学的土壌について考察させ、理解を深める。	1 2 3 1 2 1 3 2 3	
		2	短歌 「正岡子規」 「森田義郎」 「石樽千亦」 「五島美代子」	6 7	・様々な愛媛ゆかりの短歌に触れ、短歌への興味関心を養う。 ・短歌の仕組みを理解し、鑑賞文を作成する。	1 2 3 2 3 1 3 2 3	
		2 学 期	3	近・現代の散文 「がんばっていきまっしょい」 「世界の中心で愛をさけぶ」 「包帯クラブ」	9 10 11	・現代における小説や随筆に触れ、時代背景を探ることで理解を深める。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	2 3 1 2 2 3
			4	「葬儀の日」 「自分の木の下で」 「病状六尺」	12	・郷土にまつわる作家および作品を味わうことで郷土への愛着を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。	1 3 1 2 1 2
3 学 期	5		近・現代の散文 「坂の上の雲」 「坊っちゃん」	1 2 3	・近代の小説に触れ、その時代背景や時代を生きる人物の心情を読み取らせることで作品への理解を深める。	1 2 3 1 3	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○定期考査等では、事実に知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスを取りながら評価する。 ○課題や提出物の状況を評価に取り入れる。 ○実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることを期し、技能もはかる多様な評価を目指す。	○定期考査等では、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いているかをはかることに注力する。 ○論述やレポート等、多彩な表現活動を評価に取り入れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているかをはかる。	○観点別学習状況の評価を通してはかる。 ○ノートやレポート、提出物等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒の自己評価等の状況も評価に当たって考慮する内容とする。
	手 段	・定期考査 ・小テスト ・提出物	・定期考査 ・授業中の活動 ・感想文など	・授業中の活動 ・感想文など ・提出物
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と学期末の評価を行い評価する。	
	学習上の留意点	・小テストの勉強や課題プリントなど、家庭学習をしっかりと授業に臨むこと。 ・ノートや問題集など、提出物は期限を必ず守ること。		